

プレスリリース

## 豪雨時や地震時の

## 盛土の崩壊を防ぐ特許取得

株式会社尾鍋組は、三重大学などと盛土の崩壊防止を目的とした排水対策の新技术で特許を取得しました。

## 【取得した特許の概要】

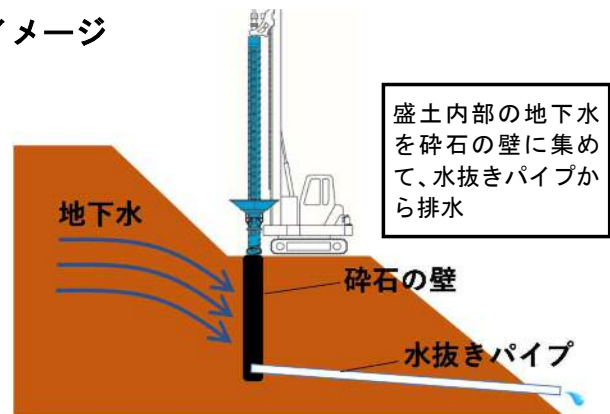
近年頻発している豪雨時や地震時の盛土の崩壊は、災害大国日本における大きな社会問題となりつつあります。

豪雨時に盛土内部に浸入する雨水がもたらす地下水位の上昇により、盛土自体が崩壊する可能性があります。また、盛土の地下水位が高い場合、地震の揺れにより崩壊が発生することがあります。そうした事態を避けるためには、盛土内部の地下水位を低下させることが必要ですが、既存の技術では盛土内部の地下水を効率的に捉えることが困難でした。

この課題を解決するため、碎石を使う地盤改良技術「エコジオ工法」を活用し、盛土の排水対策に応用する技術を開発しました。エコジオ工法は、地中に碎石を柱状に詰め込むことができます。さらに、柱状の碎石を連続して施工することで碎石の壁を地中に構築できます。この碎石の壁により上流からの地下水を効果的に集めることができ、碎石の壁の最下部に連結した水抜きパイプから地下水を排水することで、盛土内部の地下水位を低下させることができます。

本技術の実際の施工事例においても大きく水位低下していることが確認されています。

## 施工イメージ



## 実際の施工事例（高速道路の盛土崩壊対策）



問合せ先 株式会社 尾鍋組 地盤改良事業部 エコジオ本部 (担当 瀬間、大石)  
 〒515-1502 三重県松阪市飯高町宮前321-4  
 TEL 0598-46-0121 FAX 0598-46-1222  
 ホームページ [https:// www.onabe.co.jp/](https://www.onabe.co.jp/)

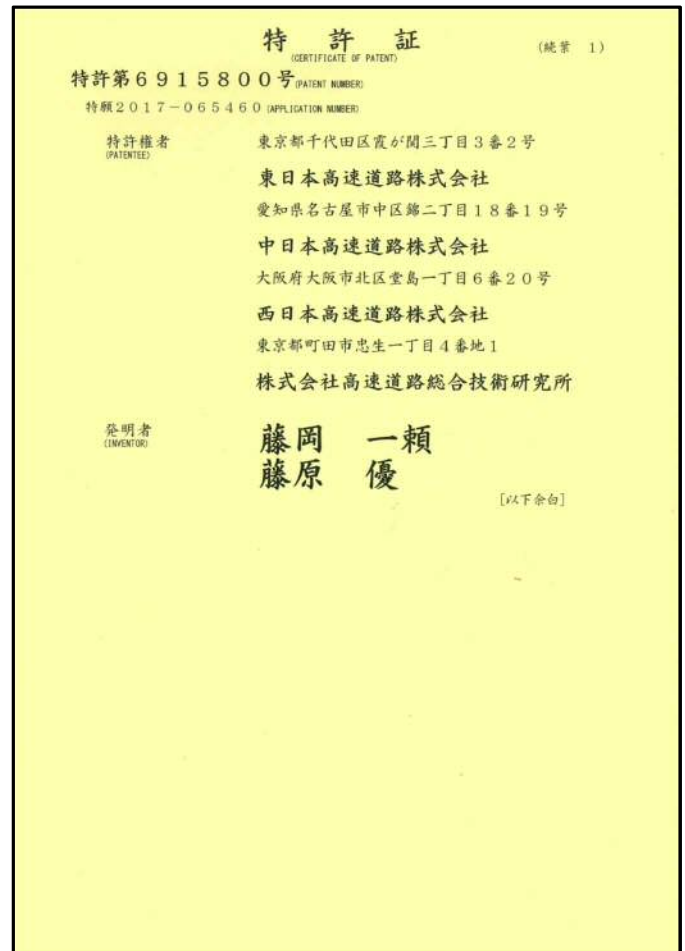
## 【取得した特許】

発明の名称：砕石構造体の構築方法及び砕石構造体

登録番号：特許第 6915800 号

出願番号：特願 2017-065460

特許権者：株式会社尾鍋組、国立大学法人三重大学、株式会社高速道路総合技術研究所、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社



## 【エコジオ工法とは】

尾鍋組と三重大学との共同研究により開発した地盤改良技術。一般的に使われているセメントや杭を使わず、自然素材の砕石だけを用いて施工する。材料生産時の CO2 排出量も少なく、地球環境への負荷も少ない地盤改良技術。現在は主に、住宅等の地盤改良技術として使われており、全国での施工実績は 2 万件以上。施工代理店は全国 55 カ所。(国土交通省 NETIS CB-170031-A、建築技術性能証明 GBRC 第 09-31 号改 5)

問合せ先 株式会社 尾鍋組 地盤改良事業部 エコジオ本部 (担当 瀬間、大石)  
〒515-1502 三重県松阪市飯高町宮前 321-4  
TEL 0598-46-0121 FAX 0598-46-1222  
ホームページ [https:// www.onabe.co.jp/](https://www.onabe.co.jp/)